



R18  
ADULT ONLY

およなら、

またらつか









さよなら、

またいつか



さ  
よ  
な  
ら  
、  
ま  
た  
い  
つ  
か

※注意※

※この本の内容は魔神任務間章「伽藍に落ちて」後の内容になっております。  
※楓原万葉は旅人から放浪者(スカラマシュ)の事を間接的に訊いています。  
※何度か直接会って言葉を交わしたり、一緒に探索したりしてます。  
※全てがイマジナリー要素しかございません。  
※楓原万葉と放浪者(スカラマシュ)のリバ本です。  
※放浪者(クソデカ感情)→→→→→←楓原万葉 な相関図です。  
※何でも許せる方向けです。

■この本は個人が非公式に発行したものです。実在の人物、作品、制作会社、原作者とは一切関係ありません。

This work is an unofficial publication by a private individual.

Any similarity to actual persons, works, or production companies is unintentional.

■関係者の方および一般の方の目に触れる可能性のある行為(無断転載、転売、複写など)を禁じます。

Any act (including but not limited to unauthorized reprinting, resale, or reproduction) that exposes this work to the general public or persons related to the author is prohibited.

■無断転載、複製、複写、インターネットへのアップロード(ソーシャルメディア、ネットオークションなど)、中古書店などへの転売を禁止します。

Unauthorized reprinting, reproduction, replication, uploading to internet sites (social media, net auction sites, etc.), or resale to secondhand bookstores is prohibited.


■必要なくなった場合は一般の方の目に触れないような方法で破棄してください。

If the work is deemed to be no longer necessary,

it must be destroyed using appropriate methods to prevent exposure to the general public.

■18歳未満の方の閲覧はご遠慮下さい。

Viewers must be 18 years of age or older to view content.





やあ

隣、いいかな？



構わぬが…  
如何した？

あの探偵と  
口論していた  
様だけど

喧嘩でも  
したのかな？

…お主には  
その様に映った  
でござるか




また暫く旅に  
出ることを伝えて  
いたただけでござるよ

ふうん  
それだけで  
あんなに  
話し込むかい？


拙者は浪人  
彼はお役人

自然と共に居る  
時間は少なくなつて  
いくもの



もう少し稲妻に  
滞在してはどうかと  
云ってくれたが

何分拙者は同じ  
場所に長く留まる  
性分ではないゆえ



…ゆえに

ただの浪人である  
拙者に付き合わ  
せるのは

申し訳ない、と

僕なら――



家族も

帰る場所も

友も

今の僕には  
何も無い





旅のお供にするなら  
僕以上の適任者は  
いないと思うけど



……そうでござるな



……は？

それも  
良いかもしれぬ



丁度明日璃月の  
姉君に伝えた後

旅に出る予定で  
あったゆえ

これは……？



お主さえ良ければ  
共にどうでござるか？

つまり  
そついう事か？

さよなら、

またいつか





……ふうん  
銀杏の木とは  
違うんだ

璃月は稲妻とは  
違い高低差のある  
景色がとても趣が  
あるでござる

あの却砂の木という  
黄色い葉が敷き詰め  
られた景色も誠に  
見事であろう？



こうした長閑な  
景色を眺めながら  
旅をするのも

旅の醍醐味……

……？

どうかしー



きゃあああッ



女性の声  
以外にも  
子供と男性の  
悲鳴が聞こえる  
でござる



...全く

はま...

すまぬ!

先に行く



お人好しにも  
程がある



!?

アレか



大丈夫——

ママがずっと  
側に居てあげる  
から……ッ

ママーッ!!



……!



怪我は無いで  
ござるか?

は、はい……!

それは良かった  
見た所親子と  
お見受けするが……

ば……パパが  
わたしたちを  
庇って……まだっ

心配無用

彼に任せるで  
ござるよ



うああああ

誰かーッ

!?

しぶといな

図体がデカイ  
だけのことはある

おおお

!!





ふん

おん

雑魚が





本当に  
ありがとう  
ございました!

お二方が助けて  
下さらなかつたら  
どうなっていた事か

礼など  
不要でござる

拙者達はただの  
通りすがりで  
あるがゆえ

本当になんと  
お礼を申し上げ  
れば良いか……!



いいえ!  
そうは  
いきません!!

見た所  
旅の御方と  
お見受けいた  
しますが……!?

それでしたら!  
今夜の宿はもう  
お決まりで!?

よろしければ  
私達の下宿して  
いる旅館へお越し  
ください!!  
勿論お代は私が  
持ちますので!

い、  
いかにも……

拙者達は  
野宿で充分  
でござる

う、うむ  
しかし……

め、まじ……



私は璃月で茶葉の  
仕入れを主にして  
いる商人でして

よろしければ  
とっておきの  
お茶も是非ご馳走  
させてください!

……と  
申しているが?

断ったところで  
この人達は引かな  
そうだし

好きにしなよ

決まりですわね!  
いやあ良かった!!



決まったなら  
さっさと行こう

君たち  
人間の時間は  
有限なんだから

！ すまぬ、

一つ  
提案なのだが...



旅館との距離は  
そう遠くはないが  
もうすぐ日が暮れる

またこの御仁が  
襲われぬ保証は  
無いでござろう？

行き先が同じで  
あれば護衛を兼ねて  
共に向かうのはどう  
であろうか

...護衛なんて  
君一人でも...



お主が  
居てくれると

とても  
心強いでござる

...仕方ないな



その…

ごめんなさいね  
今日はもう二人部屋は  
予約がいっぱいので…



構わない  
かしら…？

※ダブルツインの  
お部屋ならすぐに  
ご用意できるのだけど

※1つのベッドに2人で寝る部屋



！  
お主達は  
まだ幼子が  
居るのであろう  
拙者は大丈夫で  
ござるが…



そ、そんなッ  
では私達の部屋と  
交換してくれま  
せんか…!?

「お主達は  
まだ幼子が  
居るのであろう」



無駄話は  
好きじゃないんだ

君がいいなら  
僕は構わないよ



それに  
少し疲れた

お主がそう言う  
のであれば……

さっさと  
休みたい



思ったより  
広いでござるな



この広さであれば  
拙者は床で寝食を...

何ほけーっと  
突っ立っている  
んだい？



？

さつさと  
脱ぎなよ

.....  
？



それは一体.....？

は？

そのままの  
意味だけど



そ...  
そのまま  
とは—

わっ

!?



無駄な抵抗は  
しないでよね

手短かな方が  
お互いの為でも  
あるんだから



だからさっさと  
した方がいいって  
言ったじゃないか



痛！！

君、野宿だったら  
この傷どうする  
つもりだったわけ？

さま…

ぐぐぐ…！！

ちよんっ



よ、  
よく分かったで  
ござるな…

あの男が解放された時  
寸前で受け止めたたる

上手く隠した  
つもりだろうけど  
脚も少し引きずって  
いたしね

別に放って  
おいても大怪我  
する高さじゃ  
ないのに

ニキ

パキ

一つ  
提案なのだが…

すまぬ、





……しかし  
結果的に

あの御仁に怪我が  
無くて良かったで  
ござる

……



お人好し

はい  
終わったよ

ズキ



今日はもう  
休むと良い

人間は休めは  
大抵のものは  
治るんだろう？



どこってここは  
休息する場所  
だろうか？

！  
お主  
どこへ……

それに  
少し疲れた

僕には休息なんて  
必要無いからね

怪我人である  
君を休ませる為に  
使った方が得策だ

さっさと  
休みたい

……もしや

あの時の言葉は  
拙者の怪我の  
為に嘘を……？

だからこの部屋は  
君が使うと良い

僕はまだ  
休みたくないしね



それは違うで  
あろう……!

待つでいける



拙者が怪我人  
であろうと

それが  
お主が出て行く  
理由にはならぬ

…僕の事は気に  
しなくて良いって  
言ってるんだけど

放っておける  
訳がなからう

…だったら何だ？  
添い寝でもして一緒に  
寝でもするのかい？

構わぬ

お主を一人には  
しておけぬ



ドッ



そうやって  
君も

いつか  
僕を置いていって  
しまおうせに……ッ

……確かに

お主に比べれば  
拙者の生は短く  
儂い一時であろう

しかし  
お主が一人で  
生きていくには

あまりにも  
長過ぎる時でも  
あろう

さすれば  
誰かとその時を  
分かち合ってみるのも  
良いのではないか



——時間は

たつぷりと  
あるのだろうか？



はは...っ

あははっ

確かに  
その通りだ









ああ、  
もしかして

自分が抱く  
方がいいかい？

いや……

それは……  
つまり……

?



ま、  
まぐあ  
目合めあう

……という意味で  
ござるか……



おのこ  
男の子同士で  
致す、と……

噂には聞いた事が  
あるでござるが……



え？

君あの探偵と  
そういう仲なんじゃ  
なかったの？

？  
平蔵は拙者の  
友人であるが……

……



ふうん……

初めて、

なのか……



僕が

“初めて”



それじゃあ

うんと優しく  
してあげないとね











痛い？

僕ので

その割には

すごく締め付け  
てるけど

こんなになつて

さか

はあ

あ



溢れる声も

乱れた呼吸も

ああ

それとも  
違う場所に痛みを  
感じれば気が  
紛れるかな？

この熱も

きゅん  
きゅん  
きゅん  
きゅん  
きゅん



全部  
僕の、

僕だけのものだ





…仕方ないな  
僕がしてあげるから  
そのまま寝てなよ



お主…ッ  
まだ  
慣らしておらぬ  
であろう…ッ



苦痛には  
慣れてる

は…ッ  
…ッ  
…ッ  
…ッ  
…ッ  
…ッ

それはならぬ

お主に

その様な無理は  
させたくない

!





時間をかけて  
慣らそう

なんだそれ

本当に一時間も  
慣らす奴があるか

おち...

さ

おち...



苦しければ  
言うでござるよ

どうしてそんなに  
優しくするんだ

ん...

ジハッ

ん...



そんなに優しく  
触れられたら

痛...く  
ない...?

は...

おかしくなる

むじ...





様子を見に  
来たつもりが  
一緒に寝て  
しまわれた様だ

どうして  
ここに……

丹羽……？

オレ……



ここ最近休む  
暇もなく働かれて  
さぞかしお疲れ  
なのだろう

このまま  
寝かせて  
さしあげよう



……  
……  
……

今思えば  
あの時が

最後に直に感じた  
人間の温もりだった  
のかもしれない

……

……







彼の夢を  
見た事なんて

この数百年間で  
一度もなかったのに

君と居るだけで  
こどもも簡単に  
出て来るなんてね



血は

争えない、か

……

……それは



拙者と

丹羽殿の  
ことであろうか



その…

丹羽殿と拙者は  
それほど似ている  
でござるか？

全然

丹羽は君みたいに  
真っ白な髪色じゃ  
なかったし

ほう…

顔立ちも声も  
違えば

背格好も君とは  
全然違う

似ているのは  
精々口調と…



…たといえ何処かが  
似ていたとしても

丹羽は丹羽  
君は君だ

他人に成り代わろうと  
したところでなれる  
ものじゃない



…それは

お主とて  
同じでござろう

ミ

たとえ自ら望んで  
お主の存在を  
消そうとしたとして

寝食を共にし  
同じ時を過ごし  
たのは

彼らにとっての  
傾奇者はお主であり

他ならぬお主だけ  
であろう


他の者がお主の  
代わりになったとて

彼らの中で  
お主が生きた時は  
決して消えはせぬ

お主が今ここで  
生きている事が

彼らが生きた  
証でもあると


拙者は思う



これまで一人で  
ずっと放浪してきた  
のであろう？


一人と二人では  
感じるものが異なる  
ものでござるよ

拙者と旅を共にする  
ことでお主の中で  
何かが変われば……



……それって  
旅が終われば  
さようならって  
事だろう

それは  
あまりにも  
無責任じゃないか



人生とは  
生涯の全てが  
旅のようなもの

拙者の旅が  
終わるといふ事は  
すなわち——



じゃあ  
君が死ぬ  
その時まで



その旅に  
付き合っ  
てあげ  
ようかな



旅は道連れ  
世は情け  
って  
言うし

お主はそれで  
いいでござ  
るか？

お主はそれ  
でいいで  
ござるか

いいよ

僕は君よりも  
ずっとずっとと

時間が  
あるんだから

だから――

精々  
楽しませて  
もらおうとするよ

君との  
二人旅を

ふふ

風の赴くままに  
でござるな